

FTP 接続元制限

IP アドレスによって、FTP 接続を制限することができます。

FTP 接続元制限とは

FTP の接続を、IP アドレスによって制限する機能です。「社外から FTP の接続を許可しない」など、運用ルールに合わせた設定ができます。

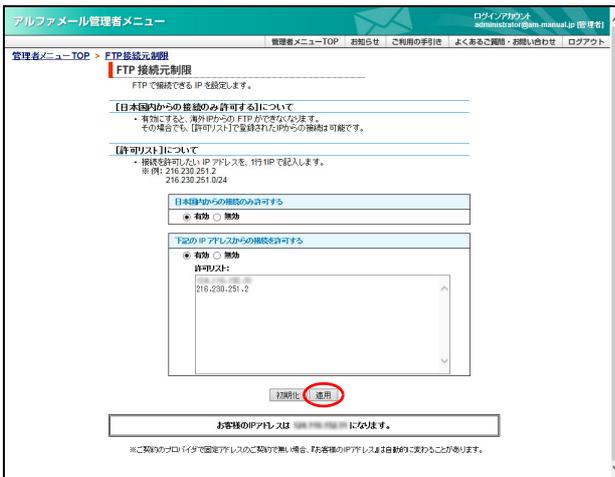
FTP 接続元制限を設定する



1 管理者メニューを表示し、「FTP 接続元制限」をクリックします。

※管理者メニューの表示方法→「管理者メニューにログインする」(P.20)

FTP 接続元制限画面が表示されます。



2 必要事項を入力し、「適用」ボタンをクリックします。

日本国内からの接続のみ許可する	
有効	日本国内のIPアドレスのみ接続を許可する場合、選択します。 ※「有効」で設定しても、許可リストに登録した海外のIPアドレスは接続可能です。
無効	日本国内と海外、どちらのIPアドレスでも接続を許可する場合、選択します。
下記のIPアドレスからの接続を許可する	
有効	許可リストに登録したIPアドレスからの接続を許可する場合、選択します。
無効	許可リストのIPアドレスからの接続を許可する設定を使用しない場合、選択します。
許可リスト	接続を許可するIPアドレスを入力します。

※入力制限について→「FTP 接続元制限」(P.286)

正常に登録されると、次手順のような画面が表示されます。

注意

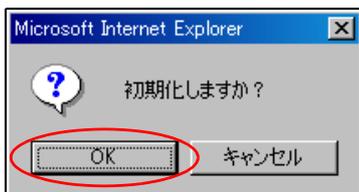
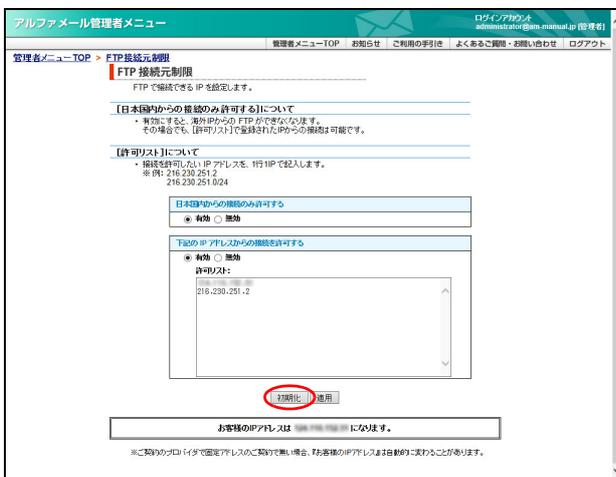
- ・ IP アドレスは、100 個まで登録できます。
- ・ 画面下部に、現在お客様が接続している IP アドレスが表示されます。ご契約のプロバイダで固定アドレスを契約していない場合、IP アドレスは自動的に変わることがあります。
- ・ 「下記の IP アドレスからの接続を許可する」で「有効」を選択し、IP アドレスを入力していない状態で、「適用」ボタンをクリックすると、どの IP アドレスからも FTP の接続ができなくなります。

3 設定が有効になります。



設定を初期化する

FTP 接続元制限の設定を初期状態に戻します。



1 FTP 接続元制限画面を表示し、「初期化」ボタンをクリックします。

※FTP 接続元制限画面の表示方法→「FTP 接続元制限を設定する」(P.161)

確認画面が表示されます。

2 初期化してよければ「OK」ボタンをクリックします。

正常に初期化されると、次手順のような画面が表示されます。



3 設定が初期化されます。

目次

はじめに

(メールサービス)
管理者機能

(Webサービス)
管理者機能

利用者機能

Webメール

補足

サブドメインの割り当て

任意のサブドメインで、お客様のホームページを表示することができます。ブログなど、通常のホームページとは別の内容を掲載する際に使用します。

注意事項

割り当てたサブドメインのレコード設定を「DNSレコード設定」(P.168)で正しく設定していない場合、ブラウザから正常に閲覧できません。

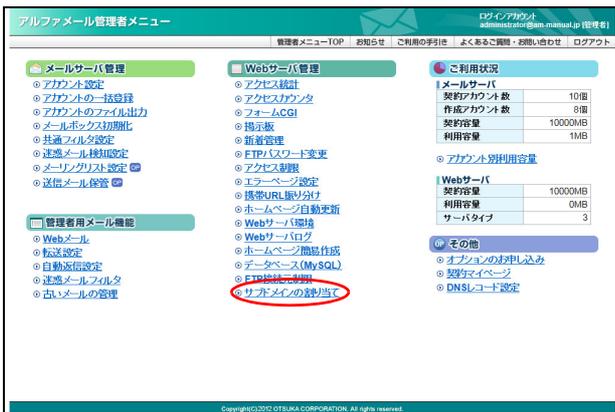
サブドメインの割り当て画面を表示する

サブドメインの割り当てを設定するための画面は、以下の方法で表示します。

1 管理者メニューを表示し、「サブドメインの割り当て」をクリックします。

※管理者メニューの表示方法→「管理者メニューにログインする」(P.20)

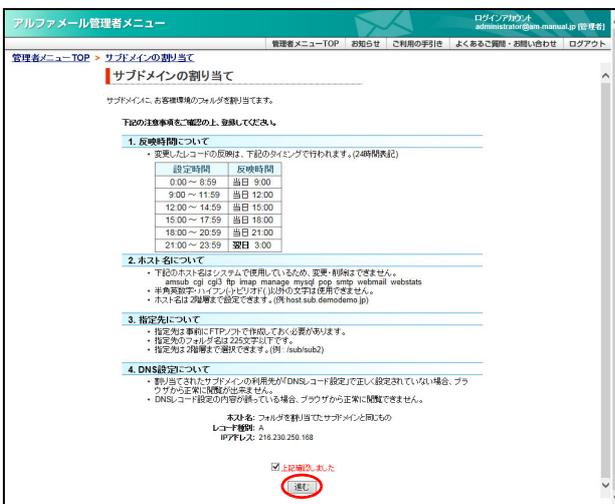
注意事項画面が表示されます。



2 注意事項を確認し、「上記確認しました」をチェックして「進む」ボタンをクリックします。

注意

画面には、注意事項として重要な情報が表示されています。必ずご確認ください。



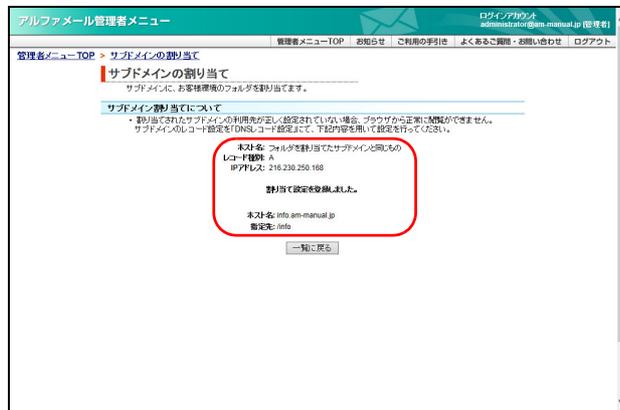
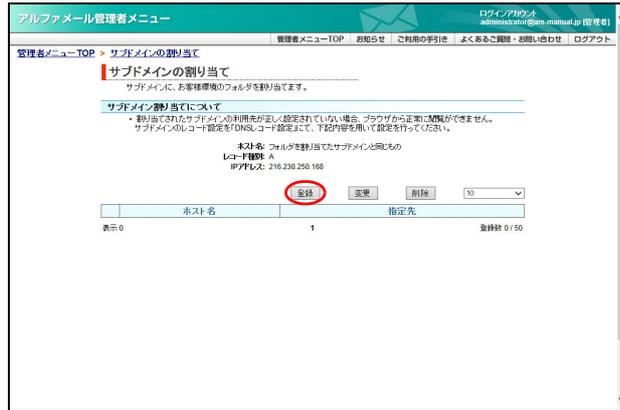
3 サブドメインの割り当て画面が表示されます。

ヒント

一覧の表示件数を変更するにはプルダウンメニューで表示件数を選択すると、1ページの最大表示件数を変更できます。



サブドメインを割り当てる



1 サブドメインの割り当て画面を表示し、「登録」ボタンをクリックします。

※サブドメインの割り当て画面の表示方法→「サブドメインの割り当て画面を表示する」(P.164)

2 必要事項を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

ホスト名	ホスト名を入力します。
指定先	指定先のフォルダ名を選択します。 ※指定先は、2階層まで選択できません。(例: /sub/sub2)

数字	該当のページを表示します。
----	---------------

※入力制限について→「サブドメインの割り当て」(P.286)

3 反映時間に、登録処理が行われます。

注意 DNSレコードを登録する必要があります
割り当てたサブドメインのレコード設定は、DNSレコード設定機能で行います。画面に表示された内容で、DNSレコードを登録してください。
※DNSレコードの登録方法→「DNSレコードを登録する」(P.169)

指定先を変更する



1 サブドメインの割り当て画面を表示し、指定先を変更するホスト名を選択して「変更」ボタンをクリックします。

※サブドメインの割り当て画面の表示方法→「サブドメインの割り当て画面を表示する」(P.164)



2 指定先のフォルダ名を選択し、「登録」ボタンをクリックします。



3 反映時間に、変更処理が行われます。

■ サブドメインの割り当てを削除する



1 サブドメインの割り当て画面を表示し、削除するホスト名を選択して「削除」ボタンをクリックします。

※サブドメインの割り当て画面の表示方法→「サブドメインの割り当て画面を表示する」(P.164)



2 削除してよければ「削除」ボタンをクリックします。



3 反映時間に削除処理が行われます。

△注意 DNS レコードを削除する必要があります
 サブドメインのレコード設定削除は、DNS レコード設定機能で行います。該当の DNS レコードを削除してください。
 ※DNS レコードの削除方法→「DNS レコードを削除する」(P.171)

目次

はじめに

(メールサービス)
 管理者機能

(Webサービス)
 管理者機能

利用者機能

Webメール

補足

DNS レコード設定

DNS レコードを登録・変更・削除できます。また、SPF レコードの有効/無効の設定も可能です。

DNS レコード設定について

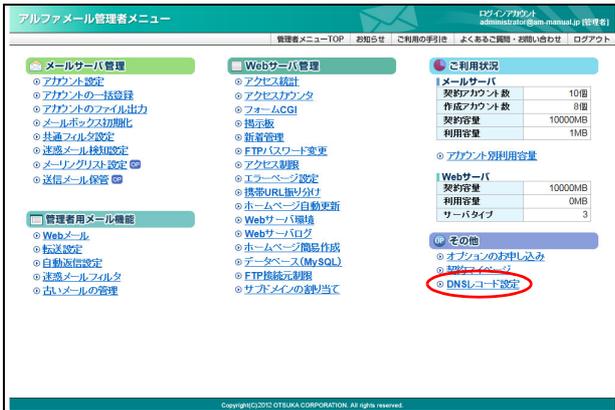
DNS レコードを設定することで、アルファメールで取得したドメインと外部の Web サーバを紐付けることができます。Web サーバを自社で運用する際などにご利用ください。

注意事項

- レコード情報の変更内容についてはサポート対象外となります。
- レコード情報の変更によって生じた不具合については、弊社では対応いたしかねますのでご了承ください。
- 変更可能なレコードは、「A」および「CNAME」です。
- キャッシュの保存時間 (TTL) は 6 時間となっており、変更することはできません。誤った設定を反映してしまった場合、最低 6 時間、キャッシュの影響でホームページ等が見られなくなる可能性がありますのでご注意ください。

DNS レコード設定画面を表示する

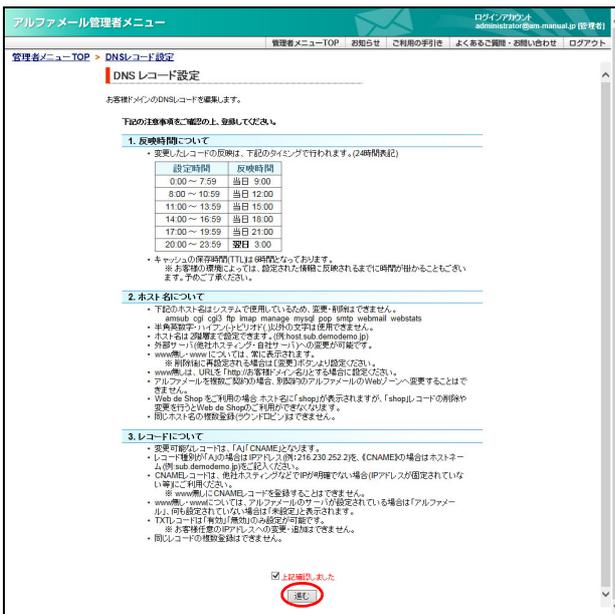
DNS レコードを設定するための画面は、以下の方法で表示します。



1 管理者メニューを表示し、「DNS レコード設定」をクリックします。

※管理者メニューの表示方法→「管理者メニューにログインする」(P.20)

注意事項画面が表示されます。



2 注意事項を確認し、「上記確認しました」をチェックして「進む」ボタンをクリックします。

画面には、注意事項として重要な情報が表示されています。必ずご確認ください。



3 DNS レコード設定画面が表示されます。

ヒント 一覧の表示件数を変更するにはプルダウンメニューで表示件数を選択すると、1ページの最大表示件数を変更できます。

■ 処理状況を確認するには 処理状況は、各レコードの状態欄に表示されています。



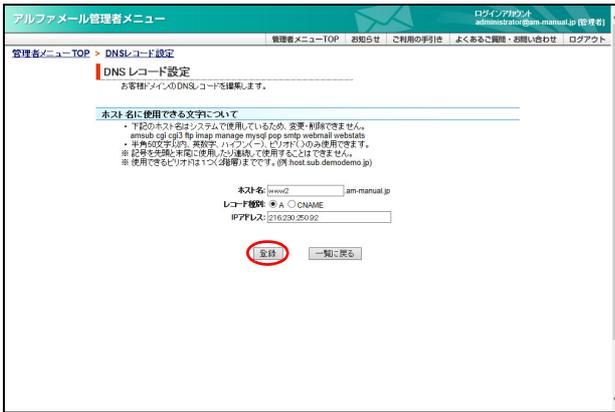
設定済み	処理が完了しています。
反映処理中 削除処理中	処理が完了していません。反映時間に処理が行われます。

■ DNS レコードを登録する



1 DNS レコード設定画面を表示し、「登録」ボタンをクリックします。

※DNS レコード設定画面の表示方法→「DNS レコード設定画面を表示する」(P.168)



2 必要事項を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

ホスト名	ホスト名を入力します。
レコード種別	レコード種別を選択します。
IP アドレス	レコード種別で「A」を選択した場合、IP アドレスを入力します。
ホストネーム	レコード種別で「CNAME」を選択した場合、ホストネームを入力します。

※入力制限について→「DNS レコード設定」(P.286)



3 反映時間に登録処理が行われます。

登録内容を変更する



1 DNS レコード設定画面を表示し、登録内容を変更するホスト名を選択して「変更」ボタンをクリックします。

※DNS レコード設定画面の表示方法→「DNS レコード設定画面を表示する」(P.168)



2 変更する箇所を入力し、「登録」ボタンをクリックします。

※入力制限について→「DNS レコード設定」(P.286)

注意 「(www 無し)」と「www」のレコードの場合「アルファメールを利用する」ボタンが表示されます。アルファメールの Web サーバを利用する場合、クリックしてください。



3 反映時間に変更処理が行われます。

DNS レコードを削除する



1 DNS レコード設定画面を表示し、削除するホスト名を選択して「削除」ボタンをクリックします。

※DNS レコード設定画面の表示方法→「DNS レコード設定画面を表示する」(P.168)



2 削除してよければ「削除」ボタンをクリックします。



3 反映時間に削除処理が行われます。

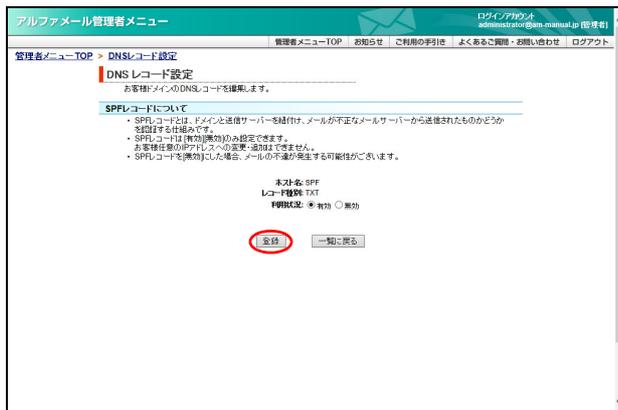
注意 「(www 無し)」と「www」のレコードの場合削除しても一覧に表示されます。削除後に再設定する場合は、変更処理を行ってください。
※変更処理→「登録内容を変更する」(P.170)

SPF レコードを設定する



1 DNSレコード設定画面を表示し、「SPFレコード設定」ボタンをクリックします。

※DNSレコード設定画面の表示方法→「DNSレコード設定画面を表示する」(P.168)



2 利用状況を選択し、「登録」ボタンをクリックします。



3 反映時間に変更処理が行われます。

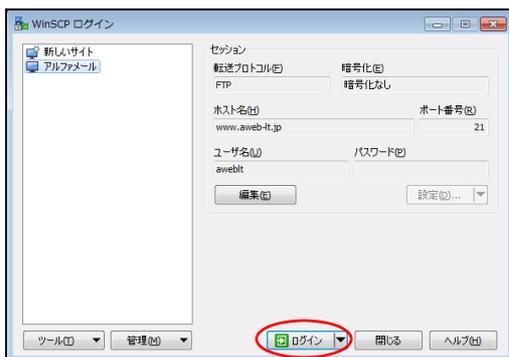
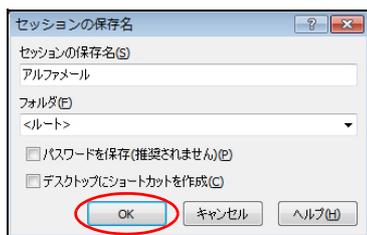
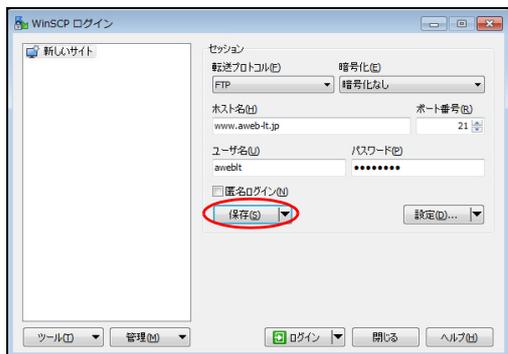
FTP ソフトの設定

ご利用の FTP ソフトを設定します。FTP ソフトとはお客様のホームページを更新する際に利用するソフトです。

■ FTP ソフトを設定する

ここでは、「WinSCP」の利用方法をご紹介します。
下記会員サイトでも FTP ソフトの設定手引きを公開しています。ご覧ください。

<http://www.alpha-mail.jp/>



1 WinSCP を起動します。

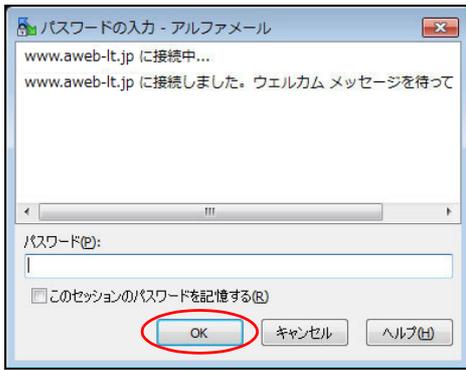
2 「新しいサイト」をクリックし、必要事項を入力して「保存」ボタンをクリックします。

転送プロトコル	「FTP」を選択します。
暗号化	「暗号化なし」を選択します。
ホスト名	「FTP 転送サーバ」を入力します。
ポート番号	「21」を選択します。
ユーザ名	「FTP ログイン名」を入力します。
パスワード	パスワードを保存する場合、「FTP パスワード」を入力します。 パスワードを保存しない場合、何も入力しません。

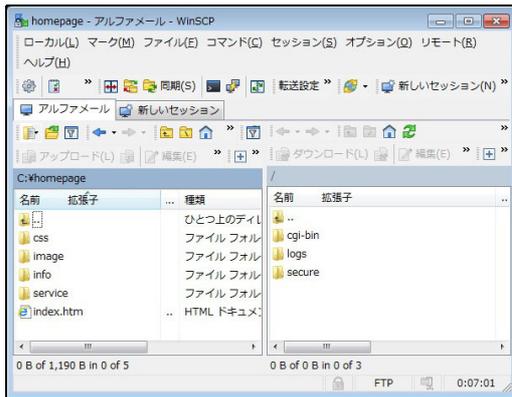
3 必要事項を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

セッションの保存名	設定用の名前（任意）を入力します。
パスワードを保存	パスワードを保存しない場合、チェックしません。 ※手順 2 で「パスワード」に何も入力しなかった場合、この項目はグレーアウトします。

4 手順 3 で保存したセッション名をクリックし、「ログイン」ボタンをクリックします。



5 パスワードの入力画面が表示された場合は、「FTP パスワード」を入力して「OK」ボタンをクリックします。

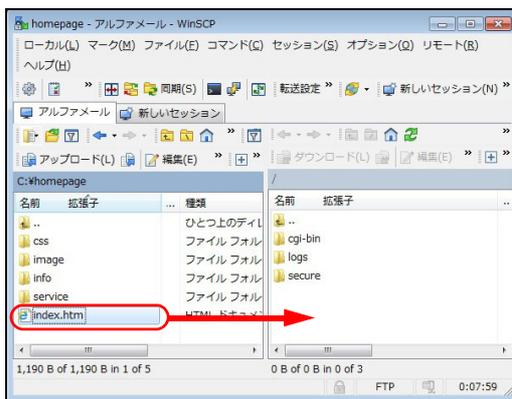


6 サーバに接続されます。

左側：ローカル（お客様ご利用のパソコン）
右側：サーバ

※お客様によって画面が異なります。

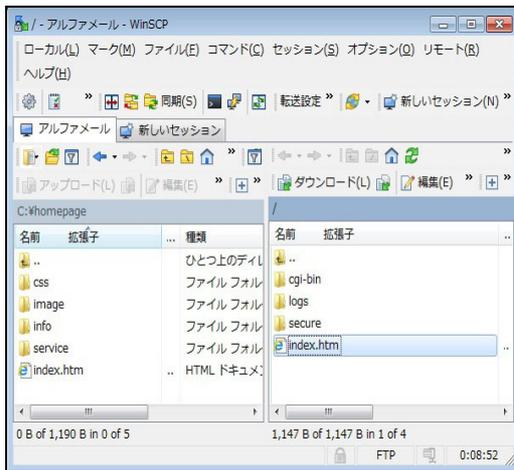
■ データを転送（アップロード）する



1 画面左側（ローカル）で転送するデータを選択し、画面右側（サーバ）にドラッグ＆ドロップします。

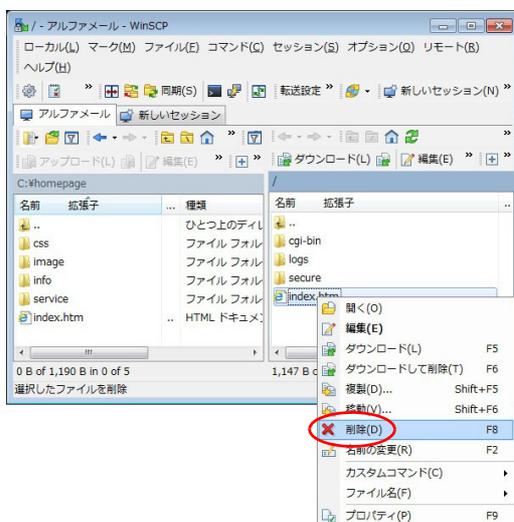


2 アップロード画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックします。



3 選択したファイルが画面右側 (サーバ) に転送されます。

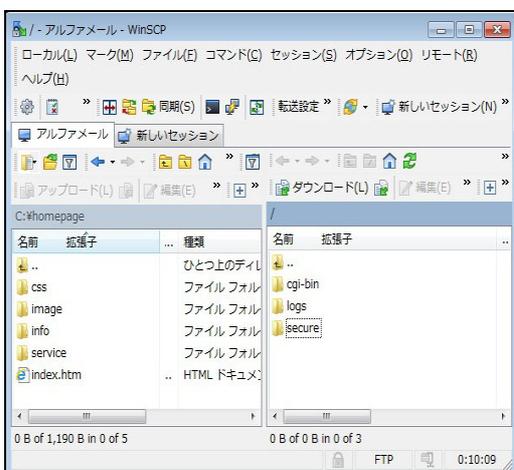
■ データを削除する



1 画面右側 (サーバ) で削除するデータを選択して右クリックし、「削除」をクリックします。



2 確認画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックします。



3 選択したファイルが画面右側 (サーバ) から削除されます。

目次

はじめに

(メールサービス)
管理者機能

(Webサービス)
管理者機能

利用者機能

Webメール

補足

